

**製品名: GRP1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11791**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	46kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CYTH3 CYTH3; ARNO3; GRP1; PSCD3; Cytohesin-3; ARF nucleotide-binding site opener 3; Protein
別名	ARNO3; General receptor of phosphoinositides 1; Grp1; PH; SEC7 and coiled-coil domain-containing protein 3
遺伝子 ID	9265.0
SwissProt ID	O43739
免疫原	抗血清はヒト GRP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 351-400

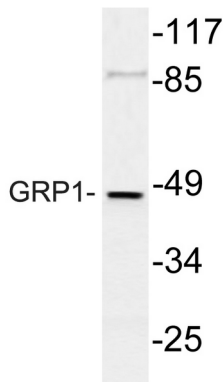
**背景**

この遺伝子は、PSCD (プレクストリン相同性、Sec7、およびコイルドコイルドメイン) ファミリーのメンバーをコードしています。PSCD ファミリーのメンバーは、N 末端コイルドコイルモチーフ、中央の Sec7 ドメイン、および C 末端プレクストリン相同性 (PH) ドメインからなる同一の構造構成を有しています。コイルドコイルモチーフはホモ二量体形成に関与し、Sec7 ドメインはグアニンヌクレオチド交換タンパク質 (GEP) 活性を含み、PH ドメインはリン脂質と相互作用して PSCD と膜の会合を担っています。このファミリーのメンバーは、タンパク質の選別と膜輸送の調節を媒介すると考えられます。このコードされたタンパク質はゴルジ体の構造と機能の制御に関与しており、ARF1 への作用に加えて、ADP リボシル化因子タンパク質 6 (ARF) の機能を制御する生理学的役割を持つ可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: ARF1 におけるグアニンヌクレオチド交換を促進する。GDP を GTP に置換することで ARF の活性化を促進する。類似性: PH ドメインを 1 つ含む。類似性: SEC7 ドメインを 1 つ含む。サブユニット: PH ドメインを介して、ホスホチジルイノシトール 3,4,5-三リン酸のイノシトール頭部に高親和性で結合する。GRASP と相互作用する。組織特異性: 肝臓、胸腺、末梢血リンパ球にはほとんど存在しない。、

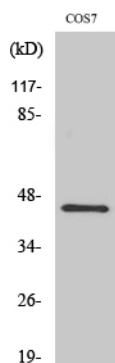
## 研究分野

-

## 画像データ



GRP1 抗体を使用した COS7 細胞の溶解物のウエスタン ブロット分析。



GRP1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウエスタンブロット解析